

平成28年度子ども読書活動実績報告書

1 子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
社会教育課	絵本の読み聞かせ	①4月20日(水) ②7月20日(水) ③10月19日(水) ④1月18日(水)	中央保健福祉センター	地域保健課主催のマザークラスに参加している妊娠中期の妊婦。	絵本をとおして、子どもと向き合い、子どもの心を育んでもらうとともに、子育ての楽しさを知ってもらおう。	71人	読み聞かせには関心があったが、どうすればよいのか分からないという参加者には非常に参考になっている。 また、参加者自身が昔親に本を読んでもらったことを思い出し、本について改めて考える機会になっている。
		①6月16日(木) ②9月15日(木) ③12月20日(火) ④3月16日(木)	鳴尾保健福祉センター			78人	
		①4月25日(月) ②6月27日(月) ③8月22日(月) ④10月24日(月) ⑤12月26日(月) ⑥2月27日(月)	北口保健福祉センター			161人	
		①6月10日(金) ②12月9日(金)	塩瀬公民館			8人	
		①9月27日(火) ②3月17日(金)	山口保健福祉センター			10人	
地域保健課	絵本の読み聞かせ	乳児相談実施日	中央保健福祉センター	乳児相談来所者 (13ヶ月未満の親子)	ブックスタートとして、乳児期から親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、親子のふれあいと絵本を通して心豊かに育つこと。	127人	毎回10人程度参加している。読み聞かせの体験や絵本の紹介等を行うことで、当日だけでなく家庭での絵本に触れ合うきっかけにもなっていると感じる。 また、対象児だけでなく、一緒に来ている兄弟児への読み聞かせにもなっており、乳児だけでなく幼児が親子で触れ合うきっかけになっていると感じる。
		乳児相談実施日	北口保健福祉センター			208人	
保育幼稚園事業課	保育園こども図書館	週1回	民間保育所	在宅親子、在園親子	保育所で絵本の貸出しを行い、子どもの年齢や興味にあった絵本を提供することで、子どもの読書活動を推進する。	1,570人	年齢発達に沿った絵本の紹介、読み聞かせの大切さなどを伝えていき、絵本を介して親子のふれあいの時間が子育ての中に位置づけられるきっかけの場になっている。
保育幼稚園事業課	スマイル体験	年2回	公立保育所	在宅親子	保育所で一緒に遊びながら絵本を楽しみ、子育て相談などを通して家庭でも絵本に親しめるようにする。	1,047人	年齢発達に沿った絵本の紹介、読み聞かせの大切さなどを伝えていき、絵本を介して親子のふれあいの時間が子育ての中に位置づけられるきっかけの場になっている。
子育て総合センター	チャレンジ研修 絵本と読み聞かせワークショップ	5月21日(土)	子育て総合センター	保育所、幼稚園・小学校教諭、乳幼児期の教育に携わる職員	絵本を好きな子どもが一人でも多く育つことを願い、教職員の子どもと育ちを育てる絵本の読み聞かせなどのスキルを高めていく。	45人	子供の心と言語を豊かに育むために、読み聞かせやストーリーテリングの魅力を理論と実践を交えながら研修し、指導者の意欲やスキルを高めることができた。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
子育て総合センター	絵本と音楽のお楽しみ ファミリーアンサンブル「ぼ ぼんた」	6月27日(土)	子育て総合セン ター	就学前の子供、保護者	親子でゆったりと楽しめるイベントを土曜日に開 催し、親子も含め家族で絵本に楽しめるようにす る。	143人	土曜日に開催したことで父親も含めた親子で絵 本に触れられる機会となった。
子育て総合センター	人形劇	2月8日(水)	子育て総合セン ター	就学前の子供、保護者	親子そろって、人形劇の楽しさに触れるとともに 親子での共有体験の機会とする。	155人	普段経験できないことに親しめる機会となった。
子育て総合センター	えほんとのであい…うふ・ うふうふ	毎週木曜日	付属あおぞら幼稚 園	就学前の子供、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみ を持つ。	1197人	保護者自身が絵本を楽しむことで、読みかせ の大切さがわかる。絵本を選ぶ際の参考にもし てもらえた。
子育て総合センター	絵本室の開放	毎日 (センター休館日除く)	付属あおぞら幼稚 園	就学前の子供、保護者	いつでも親子で絵本を手にとり、一緒に見たり絵 や言葉を楽しんだりする。	—	色々な絵本に親しんだり、落ち着いた雰囲気の中 で親子の関わりを楽しんでいる。
付属あおぞら幼 稚園、子育て総 合センター	ニコニコえほん交流	幼稚園の開園日の 毎週月曜日・木曜日	付属あおぞら幼稚 園	就学前の子供、幼稚園児、 保護者	好きなときに自由に絵本に親しむ。 親子での絵本の時間を楽しむ。	—	園児と保護者、また親子サロンを利用する就学 前の親子が、絵本の部屋を通して人との関わり を広げたり、色々な絵本に親しむことができた。

2 学校における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
学校教育課	子ども読書の日、読書週間 のポスター掲示	4月下旬	各学校図書館 各幼稚園	園児、児童生徒、教職員、 図書ボランティア	読書に係る広報チラシを配布し、読書活動の きっかけづくりをする。	—	文部科学省作成のポスター等を全校に配布し活 用することで、子供たちが読書に親しむきかけ 作りとすることができた。
学校教育課	西宮市小・中学生 読書感想文コンクール	夏休み前後～9月末	各学校	児童生徒	本に親しみ読書の習慣化を図る。また読書の感 動を文章に表現することを通して豊かな人間性 や考える力、自分の考えを表現する力を育む。	応募数 小(246 点)中(79 点)	全小・中学校での読書指導の一環として、全児 童・生徒が本を一冊選び、自分の考えを文章に 表現する機会とした。小学校では各学年1点の 作品を、また中学校では、校内での読書感想文 コンクールにおいて代表を各校4点まで選び、市 の読書感想文コンクールに出場するなど、子供 たちの発表の場となった。コンクールにおける入 賞作品は本年度も読書感想文集にまとめた。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
学校教育課	中学生の読書会 図書委員の集い	8月23日(火)	総合教育センター	生徒、保護者	同じ一冊の本を読んで、感想等を意見交流し、読書の楽しみを広げるとともに、豊かな感性を培う。	80人	市内の生徒・保護者の代表が1ヶ所に集まり、一冊の本(「白をつなぐ」まはら三桃作/小学館)について意見交流する。大人と子供の考え方の違いに気付いたり、お互いの思いを知ることで、自分自身を見つめ直すよい機会となった。図書委員の集いでは、日頃の活動を交流するとともに、よりよい図書館作りに向けて交流したり、互いによりよい刺激となり、今後の委員会活動に活かせる充実した会となった。
学校教育課	小学生のふれあい読書会	10月26日(水)、 11月2日(水)	各小学校	児童、保護者	同じ本を読んで感想等を意見交流し、読書の楽しみを広げるとともに、豊かな感性を培う。	児童215人 保護者163人	西宮市では、4年生全員が同じ課題図書(小学校教科等研究会学校図書館部会で選定(「おぼけ道、ただいま工事中!？」草野あきこ作/岩崎書店)を読み、各校において読書会を行い、深く読み合うこと、語り合うことを通し、思考力・想像力を広げる場を持った。その後、代表が市内12ヶ所で行われる読書会に参加し、保護者や他校の児童と生き方や考え方について交流した。自分の考えを表現しあう場が持てることで、読書活動の幅が広がり、意欲を喚起することにつながっていた。
学校教育課	読書感想画コンクール	冬休み前後	各小中特別支援学校	児童生徒	読書による感動を絵画表現することにより、読書力・表現力を養い、読書の活動をすすめるとともに、豊かな感性を培う。	小学生 (4,189点) 中学生 (62点)	読書による感動を絵で表現する場となっている。読書感想文コンクール同様、本の感動や自分の思いを表現する場として、今後も各校に広げていきたい。
学校教育課	学校図書館指導員配置	通年	各小中特別支援学校	児童生徒、教職員	児童生徒の学校図書館資料や理科・科学関係図書の活用促進に向けて、各校の司書教諭(学校図書館教育担当者)と学校図書館指導員等の連携を支援することにより、児童生徒の読書環境の充実を図る。	小中特別支援学校に配置(62校)	学校図書館の管理運営に関する補助を行い、環境整備やデータベース化の推進等、学校図書館の充実を図る活動を行うとともに、児童生徒の調べ学習等の支援や学習に活用できる図書情報の提供を学校図書館の担当者及びボランティアの方々と協力して行っている。子供と本をつなぐ上で欠かせない存在となっている。
学校教育課	教科指導等相談事業 (学校図書館活動等)	通年	各小中特別支援学校、幼稚園	園児、児童生徒、教職員	専門の講師を招聘し、読書活動を広げ、読書体験を深める。	18校園	幼稚園、小学校低学年を中心に、講師による読み聞かせやエプロンシアターなどを実施し、本の楽しさを伝える場となった。また保護者を対象にした講座を実施しているところもあり、家庭での読書指導や読書環境づくりのヒントにもなっていた。
学校教育課	読書の達人認定	通年	各小、特別支援学校	児童	自ら意欲をもって読書し、読書習慣の日常化を図る。	発行枚数 73,304枚	「読書の達人認定証」を受け取った児童の喜びの声や意欲の高まりが学校から伝わってきている。今後更なる啓発を行い、子供たちに読書活動を定着させていきたい。
学校教育課	各学校園でのイベント支援	通年	各小中特別支援学校、幼稚園	園児、児童生徒	本に親しみ、本の大好きな子を育む。		読書活動を支援するイベントは、学校図書館ボランティア等を中心に、各学校園ごとに工夫した取り組みが行われている。今後も、学校図書館教育担当者研修会や学校図書館指導員学習会や小・中教研学校図書館教育部会において交流し合いながら、各校の取組みを支援していきたい。

3 図書館における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
中央図書館	みんなでのしもう！！ おはなしいろいろ はるのまき～	4月17日(日)	中央図書館	概ね5才～、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持つ。	39人	子供だけで聞くのではなく、親子で一緒に楽しめるおはなし会で、通常のおはなし会とは違った楽しみがある。参加人数も通常の倍以上あった。
中央図書館	「読んでごらんおもしろいよ」 図書展示	7月8日(金)～7月18日(月・祝)	中央図書館	幼児、小中学生、保護者	7月発行「読んでごらんおもしろいよ」図書目録の本を実際に手にとってもらい、夏休みの読書活動の参考とする。	—	パンフレットのみで選択するのではなく、実際に本を手に取り、挿絵や本の厚さなども確認することで、夏休みの読書の楽しみや期待を膨らませることができた。
中央図書館	第13回みんなで楽しむストーリーテリング	7月29日(金)	中央図書館	概ね5才～小学生	親子でストーリーテリングを楽しみ読書に親しみを持つ。	70人	外国の昔話から、西宮の民話まで、短編・長編を取り混ぜて実施し、毎回好評を得ている。
中央図書館	第4回図書館を使った調べる学習講座	講座 6月5日(日)、6月12日(日)、まとめ8月18日(木) 相談会 6月26日(日)、7月9日(土)、7月26日(火)、8月3日(水)	中央図書館	小学3年生～中学生	調べることを目的にした図書館利用を促進し、図書を使った調べ方・まとめ方を学ぶ。	27人	往復はがきによる申込にし、必須講座を増やしたことでやる気のある子どもたちが集まり、最後までしっかり調べ、良い報告書が完成した。2名が賞を取り参加者、主催者ともに励みとなった。調べる学習については今後も継続し、本を使って自分で調べる力を育成していきたい。
中央図書館	夏のスペシャルおはなし会	8月17日(水)	中央図書館	概ね5才～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持つ。	71人	夏休みということもあってこわいお話なども取り入れ、季節感を出している。この行事は職員が開催することでおはなし会の構成や展開について研究する良い機会となっている。
中央図書館	みんなでのしもう！！ おはなしいろいろ ～あきのまき～	10月16日(日)	中央図書館	概ね5才～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持つ。	26人	通常のおはなし会と場所を変えているため、誘導に工夫が必要であるとの課題が指摘された。この行事はおはなしボランティアの活動の場であり、親子で楽しめるという利点もあるので、課題を整理しつつ継続したい。
中央図書館	冬のスペシャルおはなし会	12月21日(水)	中央図書館	概ね5才～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持つ。	65人	全体におはなしの時間が長かったように思うとの反省があった。長い話をどうしたら楽しんでもらえるのか、短いおはなしを増やすほうが良いのか、職員の研究課題である。
中央図書館	第14回みんなで楽しむストーリーテリング	3月28日(火)	中央図書館	概ね5才～小学生	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持つ。	44人	ストーリーテリングは、絵本を用いないでおはなしを語るのも、小さい子どもにはおはなしの世界をイメージするのが難しい部分もあるが、子供の想像力を育む行事として継続したい。
中央図書館	おはなし会	毎週水曜日、毎月第3日曜日、第3金曜日	中央図書館	0歳～小学生、保護者	絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持ってもらう。	306人	職員とおはなしボランティアで開催している。参加者の低年齢化が進んでいるが、30年継続してきた中で、良い思い出となっているなどの声もあり、子供の心に働きかけるおはなしの意義を実感している。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
北部図書館	子ども読書の日ブックトーク「CDケースを大変身！メッセージケースにしてプレゼントしよう！」	4月23日(土)	塩瀬公民館	小学生、保護者	テーマを決め、テーマに沿って大型絵本の読み聞かせや、児童書の紹介・テーマにかかわる身近な話題の中から読書への関心を深めてもらう。	12人	職員が実施。小学生を対象としたブックトークだが、幼児も参加できるよう配慮したプログラムを作成した。母の日にむけた工作だったので、低年齢の子供も参加し親子で楽しめた。
北部図書館	「読んでごらんおもしろいよ」図書展示	7月1日～7月31日	北部図書館	幼児、小中学生、保護者	最近3年分の「読んでごらんおもしろいよ」図書目録の本を展示、貸出。夏休みの読書活動の参考とする。	—	夏休み中の読書のための本選びの手助けとなった。
北部図書館	みやたんおはなし会	8月2日(火) ～8月31日(水)	北部図書館	幼児～小学生(低学年)	みやたんのおはなし会・工作ネルを通じて郷土への関心を引き出す。	50人	夏の定番事業として定着し、参加が多く、図書館利用の促進に繋がっている。
北部図書館	展示「図書館を使って自由研究をやってみよう」	8月2日(火)	北部図書館	小中学生、保護者	調べることを目的にした図書館利用を促進し、図書を使った調べ方・まとめ方を学ぶ。	—	図書館の調べる機能をアピールできた。夏休みの自由研究の参考になった。
北部図書館	ブックトークと工作教室「のびたらどうなる？ふうせんハーブをつくってみよう！」	8月26日(金)	塩瀬公民館	小中学生、保護者	夏休みの自由研究の参考となる主題の図書の紹介につなげる。	14人	工作を楽しみながら、調べる、試してみるという内容に好奇心をもった子供が多数いた。夏休みの自由研究の参考になった。
北部図書館	「こわーいおはなしのおはなし会」	12月2日(金) ～14日(水)	塩瀬公民館	小学生以上	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	15人	怪談物のストーリーテリング等を図書館職員とボランティアが行った。夏の定番事業として定着しており、図書館利用の促進に繋がっている。
北部図書館	展示「世界の絵本にふれてみよう」	12月15日(木) ～28日(水)	北部図書館	幼児、小中学生、保護者	世界のさまざまな国の絵本を紹介することで、読書への関心を広げる。	—	世界の絵本(原書)を展示。外国への関心を持ってもらう貴重な機会となった。
北部図書館	本の福袋	1月14日(土)	北部図書館	幼児～	「福袋」という手法を使って、職員とのコミュニケーションを図り、新しい分野の本との出会いを生み出す。	—	「職員が選んだ」という点を評価する意見をいただいた。何が入っているか楽しみながら借りていく親子が多く、利用促進に繋がった。
北部図書館	「けん玉をつくってあそぼう！」	毎週日曜日、毎月第2木曜日	北部図書館	概ね3歳～小学生	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	41人	大雪が心配される中、たくさんの親子が参加し、本の紹介と工作を楽しんだ。図書館の利用促進に繋がった。
北部図書館	おはなし会	毎月1回	北部図書館	0歳～小学生	絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持ってもらう。	446人	0～3歳のおはなし会の参加者が減少しており、実施日時について検討する必要がある。おはなしを聞くということは子供の心の成長にとって有意義であるため、継続できるよう工夫したい。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
北部図書館	ぼぼデイでのおはなし会	4月8日(金)	ぼぼデイ (名塩駅前・東山台)	小学生～高校生	絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持ってもらう。	212人	今年度はボランティアによる読み聞かせとした。子供たちは楽しみにしており、図書館利用にも繋がっている。
鳴尾図書館	お花見おはなし会	4月8日(金)	西開公園	児童、保護者	図書館の外でお花見をしながらおはなしを聞く。	17人	館外で、季節を感じながらの行事。安全面に配慮する必要があるが、図書館を利用しない住民にも図書館活動を知ってもらう良い機会となった。
鳴尾図書館	出張なるおとしょかん	4月23日(土)、30日(土)	ららぽーと西宮流	児童、保護者	ららぽーと甲子園内の「西宮流」で図書館職員とイベントボランティアによるおはなし会を開催し、図書館を知ってもらう。	252人	参加者ごとに随時絵本を読む形にしたが、工夫が必要。図書館を利用しない住民にも図書館活動を知ってもらう良い機会となった。
鳴尾図書館	フラワーフェスティバル	5月20日(金)、21日(土)	六湛寺公園	児童、保護者	フラワーフェスティバル参加者に図書館をPRする。	233人	30分ごとに絵本の読み聞かせを実施した。金曜日は成人が多く、土曜日は子供の参加が多かった。アンケートでは図書館に対して好意的な回答が多かった。図書館を利用しない住民にも図書館活動を知ってもらう良い機会となった。
鳴尾図書館	みんなであそぼう	7月23日(土)	鳴尾図書館	児童、保護者	大学生が幼児対象の行事を企画する。	46人	武庫川女子大ゼミ生が牛乳パック工作とパネルシアターを開催。工作やパネルシアターを通じて図書館への興味を引き出すことができ、学生には行事を企画・実施することを学んでもらえた。
鳴尾図書館	みんなで描こう海の中	7月27日(水)	鳴尾図書館	児童、保護者	夏祭りで使う大きな絵を共同制作し楽しむ。	49人	夏休み行事への導入としての取組み。子供たちに約12mの大画面にのびのびと絵を描いてもらった。普段できない体験を楽しんでもらうとともに、図書館行事の周知ができた。
鳴尾図書館	なるおとしょかん子ども夏祭り	8月3日(水)	鳴尾図書館	児童、保護者	子どもも大人も地域と共に楽しむ。	3,793人	自治会、中学校図書委員会、図書ボランティアなど多くの地域の参加があり、盛況であった。
鳴尾図書館	よるのとしょかん	8月23日(火)	鳴尾図書館	児童、保護者	夜の図書館空間を満喫する。	47人	今回は親子が一緒に図書館をめぐることで大人の参加者も楽しんでもらえた。
鳴尾図書館	世界の絵本にふれてみよう	10月7日(金)～23日(日)	鳴尾図書館	児童、保護者	海外の絵本にふれる。	—	いたばしポローニヤこども絵本館から借り受け。翻訳されているものが少なく、日本語訳版のある本が多ければより親近感がわくと思われる。
鳴尾図書館	なつかしの福武「ベストチョイス」	10月25日(火)～12月28日(水)	鳴尾図書館	児童、保護者	20年以上前に出版された良質な物語シリーズに再びふれる。	—	福武書店の20年以上前のベストセラーを展示した。しばらく動きがなかった本がよく借出された。書庫の本を出してくることで、再び読んでもらえるきっかけとなった。
鳴尾図書館	自分だけのすごろくを作ってみよう	11月27日(日)、12月4日(日)、12月10日(土)	鳴尾図書館	児童	想像力をはたらかせて物語を組み立てる。	33人	すごろく作りを趣味にされている市民が講師となり材料準備と指導を担当。物語を組み立ててすごろくに仕立てる行事で、子供たちの想像力の育成につながった。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
鳴尾図書館	なるおとしょかんクリスマスおはなし会	12月14日(水)	鳴尾図書館	児童、保護者	イベントボランティア、図書館、学生ボランティアの協力で楽しい場を作る。	75人	イベントボランティアは人形制作などの準備活動を計画的に実行され、大学生もリハーサル等協力して盛り上げていただいた。
鳴尾図書館	つくってあそぼう	12月17日(土)	鳴尾図書館	児童、保護者	学生が幼児対象の行事を企画する。	21人	夏に引き続き武庫川女子大小尾ゼミと協力して、土日しかこられない幼児を対象に実施した。パネルシアターでおはなしを楽しんだり、クリスマスソングを歌って手遊びをしたりした。クリスマス行事ということで、普段利用しない子供たちも来館した。また、クリスマス行事の企画することで学生の勉強にもなった。
鳴尾図書館	中国の絵本をよもう 中国の話をかきこごう	3月10日(金)	鳴尾図書館	児童、保護者	海外への理解と親しみを深める。	19人	国際交流協会との共催で、中国人留学生に読み聞かせと中国の生活のお話を実施。
鳴尾図書館	なるぞ図書館員！@なるお	3月29日(水)、30日(木)	鳴尾図書館	児童	図書館の仕事を体験し、役割を理解する。	17人	カウンター業務や本の修理を体験してもらい、利用者の立場ではわからなかった図書館の仕事を理解してもらえた。人気の企画で今後も子供たちに経験してもらおう仕事を工夫しながら継続したい。
鳴尾図書館	おりがみ屋さん	月2回	鳴尾図書館	児童、成人	世代を超えたつながりを作る。	84人	大人用、子供用の2種類のメニューを用意。子供も大人用の難しい折り方にチャレンジしていた。折り紙を楽しみにして来館する子供の図書館利用につながっている。
鳴尾図書館	0～2歳向きおはなし会 幼児向きおはなし会	毎週水曜日、毎月第1火曜日	鳴尾図書館	0歳～小学生、保護者	読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらおう。	546人	参加者人数が増えず低年齢化も進んでいる。おはなしを聞くことの楽しさや大切さを実感してもらえるような内容を研究しつつ継続して実施したい。
北口図書館	「みんなのすきな本おしえて！」	4月8日(金)～5月8日(日)	北口図書館	主に小学生	子ども読書の日に因み、子供たちが本に親しみを感じ、読書へのきっかけとする。	174人	記入用紙を大きな台紙に貼り付け、全体で一枚の絵になるようにし、児童コーナーに展示した。自分の書いた用紙が展示されることで子供たちの参加意識が高まった。
北口図書館	「えほんであそぼう“わたしのワンピース”」	4月20日(水)	北口図書館	幼児と保護者	子ども読書の日に因み、子供たちが物語の世界に親しみを感じ、読書へのきっかけとする。	30人	一つのお話を様々な形で楽しむことにより、理解が深まった。今回はワンピースを題材にした絵本のため、男の子の参加が少なかった。
北口図書館	ゆりかごのおはなし会	6月21日(火)	北口図書館	乳児と保護者	乳児用絵本リスト「絵本のゆりかご」改訂にともない、おはなし会で本を紹介し利用促進を図る。	60人	保護者の乳児向けおはなし会への関心の高さを感じた。
北口図書館	としょかんで世界いっしょう！	7月28日(木)	北口図書館	小学生	日本に住んでいる外国人をゲストによび、それぞれの国を紹介してもらう。子供たちの外国文化への興味のきっかけとする。	48人	オリンピックに合わせ、ブラジルの方を招きお話を聞いた。保護者の参加も多く、参加型の絵本のセリフを外国語にし、口に出し音を楽しむことで子供たちにも外国に親しみを感じてもらった。
北口図書館	夏休み「小学生のためのこわーいおはなし会」	8月2日(火)	北口図書館	小学生	色々な読み手による絵本の読み聞かせを味わってもらおうことで、読書への意欲を喚起する。	88人	怖いお話のおはなし会にしたところ、多くの参加があった。5・6年生の男の子の参加もあり、にぎやかで楽しいおはなし会になった。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
北口図書館	ブックトークと工作教室「いるの？いないの？」	8月16日(火)	北口図書館	小学生	夏休みの期間の読書の本選びをサポートするとともに、工作を行うことで子供たちの創造力を培う。	21人	工作の時間には、初対面の子供たちが仲良く教え合って、交流を深める機会となった。
北口図書館	ティーンズ向け行事「憧れの職業 消防士さんに聞いてみよう！」	8月30日(金)	北口図書館	小学5年生以上	10代に向けた職業案内。実際に職業についている方に話を聞くことで進路を考えるきっかけとする。	44人	対象とした10代の参加は少なかったが、小学生や大人の関心が高く、様々な年齢層の集まる行事となった。
北口図書館	みんなでクリスマス	12月21日(水)	北口図書館	幼児と保護者	DVD上映会と絵本の読み聞かせ等を行い、クリスマスに合わせて物語を楽しんでもらう。	75人	多くの参加となった。工作としてサンタクロークを折り紙で折り、クリスマスツリーの台紙に飾り付けた。子供たちの参加意識が高まった。
北口図書館	ティーンズ向け行事「みんなで百人一首！北口図書館でかるた大会」	3月5日(日)	北口図書館	小学5年生以上の10代	百人一首を通し古典の世界に興味を持ってもらうこととともに、YAサービスの充実を図る。	78人	今年で3回目。今回は多くの10代の参加があった。行事を手伝うティーンズボランティアを募集したことで、10代のための行事になった。小学生や大人の見学も多く、イベント終了後、様々な年代の人の交流の場にもなっていた。
北口図書館	児童向け行事「はっけよい！のこった！とんとんずもう春場所」	3月28日(火)	北口図書館	幼児～小学生低学年	小学生向けに行事を行い、子供の読書活動を推進する。	17人	初対面の子供たちが「とんとんずもう」を通して交流を深める機会となった。年齢の低い子供が勝てる点も良かった。優勝者が決まった後にも、それぞれで勝負をしたり相撲の本を読んだりしていた。
北口図書館	おはなし会	開館日	北口図書館	0歳～小学生、保護者	絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持ってもらう。	6,761人	0～2歳のおはなし会は毎回多くの参加者がある。また全体を見ても参加者は低年齢化している。土日には父親と一緒に参加する子供たちの姿もある。
北口図書館	StoryTimeえいごのおはなし会	奇数月第4土曜日	北口図書館	概ね4～7歳	英語を母語とする読み手により英語の絵本の読み聞かせ等を行うことで、翻訳ではない絵本本来の文章のリズムや英語に触れる機会を作る。	123人	対象としている年齢よりも小さな子供たちの姿もあり、保護者の英語教育への関心の高さを感じる。また、「おはなしボランティア」の見学希望もある。
中央図書館 山口分室	おはなし会	毎月第2木曜日	山口分室	幼児～小学生	絵本などの読み聞かせを通して、読書に親しみを持ってもらう。	68人	大型絵本を使うなど、毎回工夫をこらして開催している。